

東日本大震災に対する日本佛教学会の声明

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災によって、亡くなられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆さまにお見舞い申し上げます。

また復興に励む被災地の方々をはじめ、ボランティア等の支援活動をされている皆さまに心から敬意を表します。

このたびの大震災では、尊いいのちや貴重な財産が失われ、心に傷を負われた方々も多くおられます。ここにおいて私たちは、人間の無力さや限界を知らされることになりました。

仏教の開祖釈尊は、このような私たちに対して、智慧と慈悲とを教え示されています。いまこそこの教えを社会に発信しなければならぬと考えます。

そのために、この大震災を私たちはいかに受け止めるかを仏教に求め、被災された方々の悲しみに寄り添い、ともに歩みたいと願っております。

日本佛教学会は、仏教思想の学的研究を通じて得た成果を、広く社会に還元していくことを改めて誓い、すべての人びとに心の安寧をもたらすという、公共の利益に資する活動を、より一層進めていくことを、ここに表明いたします。

平成二十三年八月三十日

日本佛教学会